専門家の活用によるシカ捕獲技術の向上（岡山県シカ生息地）

○ シカの生息密度や被害が増加している地域で、捕獲数の増加を目的に専門家による各地域の実情に応じた捕獲技術指導を実施し、捕獲技術を向上
○ 新規わな猟免許取得者を中心に、地域毎のグループ単位で指導を実施
○ 各地域の実情に応じた誘引エサの種類の選択や、実際に受講生が設置したわなの改善点を専門家が現地指導し、捕獲技術を向上

取組内容

○ シカの生息密度や被害が増加している地域で、新規わな猟免許取得者を中心に、専門家による捕獲のポイントの講義や、実際にわなを設置した場所での現地指導を実施
○ グループ指導で受講生相互のわなを視察することで、改善点の共有やわな設置のポイントを学び、短期間で捕獲技術を習得

○ グループ指導により、捕獲の際の受講者間での対策補助要請や、解体作業場の共有など、事業終了後も続く関係性を構築

成果

○ 受講者23名のうち11名が計73頭のシカ 捕獲に成功（R2年度実績）
（シカ以外も含めると18名が計205頭の捕獲に成功）
○ 実際に設置したわなに対する指導とグループ指導により、課題解決方法が明確化及び共有され、短期間で捕獲技術が向上

獣 種	受講者捕獲数
シカ	73頭
イノシシ	118頭
その他獣類	14頭
合 計	205頭

専門家の活用によるシカ捕獲技術の向上（岡山県シカ生息地）

きっかけ・背景

○ 近年、シカの生息域が県東部から北西部へ急激に拡大
○ シカによる農林水産被害増加の懸念

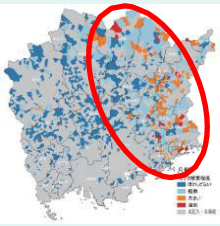
課題

○ シカ捕獲技術の向上
○ 捕獲者の減少

目標

○ シカ捕獲技術の普及
○ シカ捕獲数の増加
○ 新規捕獲者の確保・育成

シカの生息状況



被害増加

シカの被害状況

現地指導

実績

○ 狩猟者の育成
受講者23名のR2年度実績

獣種	受講者捕獲数
シカ	73頭
イノシシ他	132頭
合 計	205頭

専門家による指導

○ 鳥獣被害防止対策の専門家の活用
○ 専門家による現地指導を実施

取組の特色

○ 新規わな猟免許取得者を中心に、わなを設置した場所での専門家による現地指導
○ 専門家による各生息地域の状況に応じた捕獲技術指導を実施
○ 地域別のグループ指導により、受講者間で関係性を構築

取組による成果・効果

○ 新規わな猟免許取得者が、地域毎でグループ指導を受講することで、短期間での捕獲技術を習得
○ グループ指導により、受講者間での捕獲や解体作業など新たな協力体制を構築
○ 受講者23名のうち18名が205頭のシカ、イノシシ等（うち73頭がシカ）の捕獲に成功